

飛騨市高校案内



2020年度版
中学生のための
飛騨市内
高校案内

3年後、この高校を選んで
本当によかった! と思えるために...

夢に向かう確かな時
一人一人が輝く場へ

高校生活 思い出の品。

現役高校生編集員に聞きました

高校生と中学3年生。年でいえばたかだか数年の違い。でも、その数年は子どもの思考から大人の思考へと変わる非常に大きな違いが生じる数年となります。勉強や部活がより高度なものになることは当然ですがそれ以上に、生活面、精神面、周りとの関わり方等、大きく変わります。そんな「違い」を、編集員を努めてくれた6名の高校生活思い出の品を通じて少し感じてみてください。

バレーボールシューズ

バレーシューズは、1年ぐらいでボロボロになります。自分が気に入ったものを選ぶので、ボロボロになってきたら「あゝ変えなきゃな」と少し悲しい気持ちになります。でも、新しいシューズが来るとまた「よし、頑張るぞ」という気持ちになります。バレー選手にとって、バレーシューズはとて
も大切なもので、毎回毎回
思いが入ります。この使い
込んだシューズともそろそ
ろお別れ。また新しい
シューズで頑張ろうと思っ
ます。



飛騨神岡高校2年
大前 木乃葉
Ōmae Konoha



吉城高校2年
東 乃愛
Azuma Noa

かけ(弓道の道具)

私にとって弓道は生活の中であってはずらなれないものです。仲間と一緒に弓を引くのは本当に楽しいし、部長としてやりがいを感じています。1年生の時は、矢が的まで全然届かなくて、初めて届いた時の感動と喜びは今でも記憶に残っており、弓道はほかのどんなスポーツよりも楽しいと感じています。そんな弓道で使う「かけ」。これがない「弓」を引くことができません。「かけ」をもちいた時の弓を引けるようになったこと、嬉しさと、その独特な匂いを、今でも忘れることができません。ここでは語り尽くせない思い出が詰まっている「かけ」です。



グローブ

このグローブは初めて買ってもらった硬式用グローブです。買った時よりも、色が濃くなっています。黒土で汚れて手入れをして、の繰り返しで色が濃くなりました。また、革がすり減ってきている部分もあります。このグローブでたくさんさんのボールを取ってきました。うれしい思い出、悔しい思い出、辛かった思い出など、いろいろな思い出が詰まった唯一無二のグローブです。



飛騨神岡高校2年
中田 飛翼
Nakata Tsubasa



吉城高校1年
伊藤 羽那
Ito Hana

やる気の出るタイムカード

私は高山市から吉城高校に通っているので毎日列車を利用します。そのため毎日定期券を使っているのですが、通学には1時間以上かかり、正直大変です。学校に通うのが面倒になるときもあります。でもこの定期券と定期入れを見ると、入学するときに「頑張れ!」という気持ちを込めて母がこの定期入れを買ってくれたのを思い出します。定期券も高いのに、毎日通えるように買ってくれました。だから毎朝これを見て「今日も一日頑張ろう!」と思えます。いわばこの定期券と定期入れは私のやる気タイムカードなのです。



ボールペン

僕はかなり物忘れが多い方で、よく学校に筆箱を持っていくことを忘れていました。そのため、いつも制服の中にこのボールペンを入れ、よく使っていました。そして不思議とこのペンを使って受けた授業や勉強した事は特に頭に残っていて、受験の時にも「あつ、これあのペンで勉強していた問題や!」と思うこともあり、思い入れとともに僕をたくさん助けてくれた思い出の品です。



飛騨神岡高校2年
山川 翔大
Yamakawa Shota



吉城高校2年
船坂 望永
Funasaka Moe

ESDのプリント

去年のESDでは、三寺まいりと「飛騨みんなの博覧会」のプログラム、YCK報告会を行いました。私は、その中の飛騨みんなの博覧会とYCK報告会に参加しました。飛騨みんなの博覧会は、何をするか、どんな内容かなど、前日まで準備に追われました。YCK報告会では、前日遅くまで全体練習をしたり、当日時間通りに進まなかったり、ちょっとしたトラブルなどもありました。プリントを見返すと、頑張ってきたんだなと感じます。



岐阜県立吉城高等学校
〒509-4212 岐阜県飛騨市古川町上気多 1987-2
TEL: 0577-73-4555 FAX: 0577-73-6475
http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/yosiki-hs/



岐阜県立飛騨神岡高等学校
〒506-1143 岐阜県飛騨市神岡町小萱 2138-2
TEL: 0578-82-1147 FAX: 0578-82-4865
http://school.gifu-net.ed.jp/hidakami-hs/

吉城高校

国公立大学から就職まで
夢に応えるカリキュラム

吉城高校では、普通科1年次にコース選択があり、主に専門学校、短期大学、就職を考えている人が選択する総合コースと4年制大学に進学したいと考えている人が選択する探究コースの2つから選択します。それぞれの進路に合わせた科目が準備されているため、現時点で進路がはっきりしていても、入学してから1年間を有効活用して夢を叶えたいとすることができます。

編集員 Voice

学び探究コースを選択した先輩の声

私は中学の頃から福祉にかかわる仕事に就きたいと考えていたが、具体的に福祉のどの仕事に就きたいのか決まっていなかった。進学する高校を決める際、吉城高校は進路の幅が広く、2年生からのコース選択で自分に合った勉強ができることと知って、この高校に入りました。

理数科の先輩の声

高校卒業後進学したいと考えて理数科を選択しました。理数科では普通科より多く授業があったり、理数科研修があったりと理数について詳しく知ることができ、進路の幅が広がりました。



だから吉高はこんな人にピッタリ!

まだ将来どうしたいかが決まっていない人
進路の幅が広いから自分のやりたいことを見つけやすい!

学びを深めたい人
深めたい教科を追究できる!

勉強や部活の結果だけじゃない 現役生徒が教える 吉城高校・飛騨神岡高校 ホントの魅力



ひとり一人が輝ける空間

「誰もが主役になって輝きたい。でも、勇気がいるし、自信もない。」そんな思いを踏まえていたことに、背中を押して、挑戦できるのが飛騨神岡です。授業、行事、部活動のすべての学校生活の中にひとり一人が輝ける空間が満載です。あらゆる場面で各自が主役となり、生徒会行事や地域貢献活動、部活動など自分が輝ける機会が到るところにあります。これまで自信がなかったことに挑戦し、誰もが新しい自分に出会えます。

編集員 Voice

部活動でも、行事でも、飛騨神岡は少人数だからこそ他校に比べて様々な経験ができるチャンスがたくさんあると思います。部活動では1年生からレギュラーや中心となる立場で試合や大会に出る経験ができます。選手としての実力だけでなく、中学での経験があるとかではなく、せつ々やる以上は自分にもできる、輝ける機会がたくさんあり、自分自身を成長させてくれます。また、行事では、文化祭で演劇やカラオケ大会、文化祭実行委員として企画や運営に携わるなど挑戦してみることができ、新しい自分を発見できます。

私は、人前で話すことが苦手でクラスの役員や生徒会役員などに立候補するような性格ではありませんでした。中学校まではそのような役を避けてきました。でも、飛騨神岡では、クラス委員や生徒会役員に挑戦してみたいかと先生方に後押しされ、その気になりました。自分自身に対する考え方も変わりました。苦手な事や尻込みしている自分を克服し、主役となって輝けることができました。飛騨神岡にはそんなチャンスが誰にでもあっていると信じています。

課題を見つけ、自らその課題を解決する
地域課題探究(ESD)

吉城高校では学校設定科目としてESDという授業を行っています。この授業では、思考力、データや情報の分析力、コミュニケーション能力、リーダーシップなどの力を育み、課題解決力の向上を狙っています。昨年は三寺まいりや飛騨みんの博覧会のプログラムを行いました。

編集員 Voice

私は、去年と今年ESDの授業をとっています。ESDに入る前は右に挙げたような力はありませんでした。人と話すのは苦手だったし、考えるのが遅くて、一つのことしか考えられなかったりしていました。ESDが始まってすぐの頃は、グループで話をするときに、初対面の人となかなか話さず、話さず、会話が続きませんでした。加えて、考えるのが遅いので、話し合いに参加できないことがありました。話し合いに参加できない、言いたいことがあまり言えませんでした。深く考えすぎず、意見があまり言えませんでした。だから最初の頃は楽しくないと思っていました。でも、何回か授業を受けるうちに、最初の頃より自分の意見を言うようになり、最初の頃より一つだけでなく、いろんな考え方ができるようになりました。深く考え過ぎることを活かして、出た意見に対して疑問に思ったことを言って、さらに改善することもできるようになりました。



だから吉高はこんな人にピッタリ!

- データや情報の分析能力
- コミュニケーション能力
- リーダーシップなどの力をつけたい人

編集員 Voice

勝敗だけでなく、地域と連携した活動
戦績だけではない部活

飛騨神岡では、各部活動が戦績の目標だけでなく地域を含めた周囲に愛される、応援されるチームを目指して活動しています。

自分が所属する硬式野球部は、昨年、地元の少年野球チームと交流を行いました。年齢を超えて同じ地域で野球に取り組みむ小学生とつながり合うことができました。自分たちで交流を企画し、野球に近い形のゲームを通して野球の楽しさを知ってもらいました。また、高校生のプレーを見てもらいました。基本技術の大切さを学んでもらいました。自分たちにとっては、「集団を動かす力」、「相手に伝える力(コミュニケーション)」、「お互いに楽しむ力」を育むことができました。技術向上や試合での勝利だけでなく、人間的に成長し、部活動以外の授業や行事なども、社会に出た時に主体的に考え、行動することに自信が持てました。他の部活動も同様で、地域と連携した活動を行っています。ソフトボール部や柔道部の老人介護施設での慰問活動、吹奏楽部やロボットの地域イベント事業での参加協力、文芸部の地元小での学校俳句教室など。



「将来、社会で必要とされる力」の育成を図る
YCK(吉高地域キラメキ)プロジェクト

このYCKプロジェクトでは、「地域が学びのフィールド」というコンセプトの下、「地域観光」「地域福祉」「地域教育」「地域防災」の四分野を柱に様々なプログラムを展開しており、興味のある生徒が自主的に参加して取り組んでいます。地域課題探究のための、お寺で語る来場者参加型の対話イベントや、進路選択の一つのきっかけともなる大人と語る会、現地に行き、文化や伝統に実際に触れる台湾研修など、たくさんのプログラムがあります。YCKプロジェクトは吉高を象徴する活動の一つだと言っても過言ではありません!

編集員 Voice

参加経験のある1年生の声

私はこのYCKプロジェクトの活動を通して、自分の将来の夢の幅を広げることができました。特に、「大人と語る会」では、なかなか聞く機会が無い、自分の興味のある分野の仕事をしている方から詳しいお話や現場のリアルな声を伺うことができました。これは、今の私の将来の夢の基盤となっていました。

まだ参加経験のない1年生の声

ひまわりプロジェクトの活動を聞いて、自分と全然かけあわりのない被災地の方に向けて取り組むのがすごいと思って、私もやってみようと思いました!



だから吉高はこんな人にピッタリ!

将来のことで悩んでいる人
誰かのために自ら動くことができる人
今を後悔したくないと思っている人

「将来、社会で必要とされる力」の育成を図る
確かな夢に近づける
カリキュラム

1年生での体験・見学・講話などを通して、興味関心や将来の進路を考え、2年生から専門的な学びを選択することができる総合学科の魅力です。だからこそ、専門科目を学ぶ系列選択にミスマッチがありません。資格取得や専門技術の習得、大学進学に求められる学力向上のための魅力ある授業があります。また、文理II系列には、他校にないユニークな授業もあります。本校の総合学科は、どの系列で学んでも、就職から国立大学進学まで多様な進路に対応して進路実現をサポートしてくれます。

編集員 Voice

僕は、飛騨神岡に入学した頃は大学進学を漠然と考えていました。飛騨神岡のロボット部に入り、ロボットと情報通信やプログラミングに興味を持つようになりました。具体的にははつきりしていませんでしたが、飛騨神岡の総合学科には、「産業社会と人間」という授業があります。1年生で週2時間の授業ですが、様々な見学、体験、講話を聞くことを通じて、自分の将来や生き方について考える授業です。僕はこの授業で卒業生や大学の先生、企業の方や本校の先生方の話を聞いて具体的に大学で何を学ぶかを考えるきっかけになりました。それにより、2年生からの系列選択では文理Iという系列を選択し、国立大学の工学部合格を目指して頑張っています。工業技術系列、ビジネス会計系列、文理系列すべてにおいて、1年生で興味関心や将来の進路希望により選択するので、系列選んで失敗したという後悔はありません。資格取得や専門技術、進学に必要な学力の定着に対して、充実した豊富な科目、個人指導にも応じてくれる手厚い指導があるのも魅力です。僕は、ロボット部の活動を通して、全国の企業のエンジニアの方との交流や全国大会で得た経験も将来の目標を見つけるきっかけとなり、今は充実した高校生活を送っています。

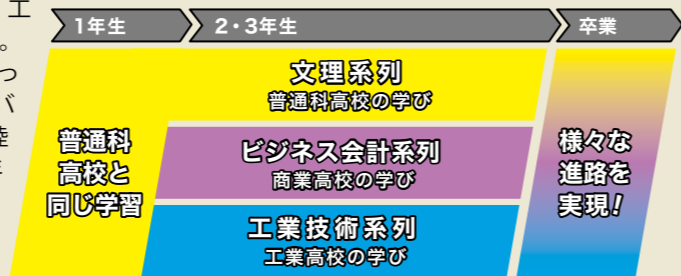


だから飛騨神岡はこんな人にピッタリ!

学校生活の中で自分の進路をじっくり考えたい人、部活や生徒会、地域との繋がりなど実践的に活躍したい人、一人一人が大切にされ輝けるのが飛騨神岡高校です!

総合学科とは?

飛騨神岡高校の総合学科は、1年生の1年間は普通科高校と同じ勉強をしますが、週2時間ある「産業社会と人間」という授業で将来について考えたり勉強をして、2年生からの系列を決定します。文理系列を選択した場合は4年制大学や短大など進学を目指す普通科高校と同じ学びを、ビジネス会計系列は事務や情報処理系の商業高校の学びを、工業技術系列は更に機械もしくは電気を選択可能で、工業高校と同じ学びをすることができます。『将来の進路がはっきりせず、どの高校を選んだら良いかわからない?』という人は、高校に入ってから実際に勉強内容を見たり、大学や企業の方の話を聞いたり、また先輩や先生にアドバイスをもらって自分に合った学びを選択できる飛騨神岡高校が最適です。就職は中京・北陸地区の大企業から地元の魅力的な会社まで一人当たりの求人数は飛騨地区No.1。進学も毎年国立大学にも合格!少人数なのでアットホームで一人一人が大切にされ、活躍する場がたくさんあります。自分のペースで着実に進路を決めたい人、高校で新しい自分を見つけた人、飛騨神岡高校で『未来への一歩』を踏み出しましょう!



多彩な選択科目で希望進路を実現!

生徒一人ひとりの多彩な進路目標を実現するために、「単位制」に移行しました。普通科は、就職から専門学校、短大、大学進学まで、それぞれの希望進路に応じたコースや選択科目があります。

理数科は四大進学のサポートが充実!

理数科は、飛騨地区唯一の進学系の専門学科(特進科)です。特に理科や数学の授業が充実していますが、理系だけでなく文系の大学受験にも対応しており、国立大学進学に適した環境が整っています。さらに教育のICT化にいち早く対応し、タブレットを積極的に活用した授業を展開しています。

自分の強みが見つかるプログラム!

「YCKプロジェクト」では「地域を学びのフィールド」ととらえ、普通の高校生活ではできない活動を実施しています。市長による地方行政の授業、地域の大人と語り合って将来を考える探究活動、絵本の読み聞かせ会に読み手として参加するプログラムや、地域の課題解決に挑むチーム活動など、他にも様々なものがあります。高校で「どのような学びを通して、どのように成長したのか」がますます大切になる今の時代において、大きな学びと自信を与えてくれるプロジェクトです。

